

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度			
大項目	基本目標	03	地域文化と人が輝くまちづくり
中項目	基本施策	02	生きがいのあるまちづくり
小項目	施策	02	青少年教育
事務事業名		01	放課後子どもプラン事業
根拠法令・例規等		放課後子どもプラン実施要綱	
担当課(室)		生涯学習課	
職・氏名		生涯学習係長 波多野 靖成	
電話		0869-64-1841	

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	市内の全ての児童及び放課後留守家庭の概ね10歳未満児童
目的(何のために)	全ての児童を対象とした安心・安全な子どもの活動拠点(居場所)の確保と留守家庭の概ね10歳未満の児童を対象にした遊びや生活の場の確保
行政活動(どのような方法で)	厚生労働省実施の「放課後児童健全育成事業(児童クラブ)」と文部科学省実施の「放課後子ども教室推進事業」の連携・融合した放課後子どもプラン事業の活用
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	平成19年度より上記「両事業」を活用した事業を検討中

事業の実績				
実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
放課後子ども教室推進事業				福祉部局連携を促すため事業導入の検討
直接事業費				
必要人員	人			0.02人
必要費	千円	0		183
国・県・市・その他	千円			
受入				
一般財源		0	0	183
受益者負担比率	%			

結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
結果指標①				
結果指標量	—			
対前年比	%			
活動コスト	円			
単位当たりコスト	円	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
結果指標②				
結果指標量	—			
対前年比	%			
活動コスト	円			
単位当たりコスト	円			

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
現時点では導入検討段階のため設定できない	目標値(A)				
	実績値(B)				到達目標年度
	達成率(B/A)				
成果指標設定の考え方・式や説明					
※参考 放課後児童クラブへの参加はH19年度に比べてH20年度は7%減					

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	D
市の関与の妥当性	市の関与の必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	福祉部局との連携・融合を目指した事業とするため、現在近隣市町の動向を見ながら方向性を検討している。
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E>
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	C
有効性の評価	市民参画度		D
	市民参画度		当面は最低限の人的コストのみ

平成21年度の状況		結果指標量①		結果指標量②		成果指標量	
目標値	結果指標量①	—	—	—	—	—	—
状況		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	国・県及び近隣市町村の動向を見ながら今後の方向性を検討する ※参考 放課後児童クラブへの参加はH20年度に比べてH21年度は15%減						

総合評価		評価区分<A~E>	妥当性
国・県及び近隣市町村の動向を見ながら今後の方向性を検討する		D	

平成22年度以降の方向性・内容							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	新規「放課後子ども教室」の実施は相当の予算を伴うものであり、引き続き研究を行う。						
改善がある場合	評価の視点	改善内容		改善時期	改善により期待される効果		

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。